

強度行動障害スーパーバイザー養成事業 研修プログラム

【1年目プログラム】

項目	内容	実施回数
講座	施設全体の支援スキルを底上げするため、事例検討会の前に、施設の全従事者を対象とした強度行動障害者の地域生活支援に必要な知識を学ぶ訪問講座を実施	3回
事例検討会	各施設で実際に支援している強度行動障害者の支援事例をもとに、支援の問題点や課題を診断・整理し、解決に向けた助言等を実施。具体的には以下手順の繰り返し ①施設が困難事例を抽出 ②指導者が問題点や課題を診断・整理し、助言 ③施設が助言をもとに実際の支援方法を変更 ④支援による行動改善を評価	9回
集合プログラム	スーパーバイザーに必要な知識を習得するため、本事業参加施設が合同で学ぶ集合研修を実施	1回
実践報告会	参加施設が取り組んだ支援の内容を取りまとめ、兵庫県内の他施設等に取り組み内容を共有するため、実践報告会を実施	1回

【2年目プログラム】

項目	内容	実施回数
事例検討会	各施設で実際に支援している強度行動障害者の支援事例をもとに、支援の問題点や課題を診断・整理し、解決に向けた助言等を実施	12回
集合プログラム	スーパーバイザーに必要な知識を習得するため、本事業参加施設が合同で学ぶ集合研修を実施	1回
実践報告会	参加施設が取り組んだ支援の内容を取りまとめ、兵庫県内の他施設等に取り組み内容を共有するため、実践報告会を実施	1回

※1年目の実施状況によってプログラムは変わる可能性があります。

【3年目プログラム】

項目	内容	実施回数
事例検討会	各施設で実際に支援している強度行動障害者の支援事例をもとに、支援の問題点や課題を診断・整理し、解決に向けた助言等を実施	12回
事例検討会等と同行するOJT研修	他参加施設に対して行う支援の問題点や課題の整理への助言方法について学ぶため、インターンとして事例検討会へ指導者と共に同行し、現場での実習を実施	6回
実践報告会	参加施設が取り組んだ支援の内容を取りまとめ、兵庫県内の他施設等に取り組み内容を共有するため、実践報告会を実施	1回

※2、3年目の実施状況によってプログラムは変わる可能性があります。